

令和 2 年 8 月

定例教育委員会

---

1

長崎県教育委員会

---

# 8月定例会（1）

開催日時 令和2年8月20日（木） 15時00分

開催場所 県庁行政棟「教育委員会室」

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報 告

(1) 障害のある子どもの教育の在り方に関する検討委員会第4回会議について

(特別支援教育課)

# 報 告 事 項 ( 1 )

特別支援教育課

件 名	障害のある子どもの教育の在り方に関する検討委員会第4回会議について
概 要	<p>1 開催日 令和2年7月15日(水)</p> <p>2 会議内容 協議「特別支援教育に携わる教職員の専門性の向上について」</p> <p>○委員からの主な意見等</p> <p>①免許保有率向上の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級や通級指導教室の急激な増加に伴って、小・中学校の特別支援学級担任や通級による指導の担当者の特別支援学校教諭免許状保有率は低下傾向にある。長崎県は免許状認定講習を積極的に実施しており、そのことを生かし、夏季休業中の受講を小・中学校の教員に勧めるなどの取組をしていくとよいのではないかと考えている。通常の学級には発達障害の子どもたちも在籍しているので、特別支援学校教諭免許状を取得することは、特別支援学級や通級による指導だけでなく、通常の学級における指導にもメリットがある。特別支援学校の免許状取得をするように働きかけていくことが大事である。</li> </ul> <p>②人的配置の工夫による専門性の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門性が高い教員が、全てにおいて力量が高い場合は、特別支援学級等の担当以外で、通常の学級の担任をして主任等をする場合が多い。校内人事の裁量は校長にあることから、特別支援教育の重要性について、管理職の意識の改革が必要である。</li> <li>・各地区に指導教諭が配置されているが、担当教員と一緒に授業や研修をしたり、校内体制について助言をしたりするなど、他の教員や保護者からの信頼が厚い。この指導教諭の存在が学校としての特別支援教育の専門性の担保を大きく左右しており、非常に重要だと考えている。指導教諭を要にして研修や指導体制を構築していくことが大切となる。</li> <li>・研修交流人事で、特別支援学校から小学校に来て、通級による指導の担当をしている教員がおり、子どもへの指導だけでなく、保護者からの相談等についても高い専門性を発揮している。他の教員からの信頼も厚い。また、小・中学校から特別支援学校に来る先生の授業からは、集団の中の個の生かし方など、特別支援学校の教員にとって学ぶことが多くある。また、高等学校で通級による指導が開始されたことで、指導を受けている生徒への配慮や手立てが、他の生徒への配慮にも広がり、学校全体として特別支援教育の指導体制の充実が図られるようになったと聞いてい</li> </ul>

概 要

る。人事交流は双方にとってメリットがあり、円滑な研修交流人事の促進に向けた取組が必要である。

③新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新しい研修の在り方について

- ・集合研修がこれまで通りでは難しくなった今、ICTを活用した研修や、派遣型の研修といったことが考えられるが、バランスよく組み立てていくことが大事である。
- ・感染のリスクをできるだけ軽減する授業の在り方や、オンライン型授業に関する教員の研修を積む必要がある。

④特別支援教育に関する研修について

- ・教育・医療・福祉の連携は、個別の教育支援計画を有効に活用し、個に応じた指導・支援をしていくうえで欠かせないものである。医療や福祉に関する研修を体系的に位置づけて、実施できればいい。
- ・放課後等デイサービスなどの福祉サービスのことについては特別支援教育コーディネータの先生だけが知っているという学校が多い。全ての先生が知っておくことが必要であるので、オンライン研修などを活用し多くの先生が研修を受講できるようになるとよいと思う。
- ・特別支援学校で大切にしていきたい研修は、やはり、自立活動の指導についてである。また、特別支援学級担任に対しても学習指導要領に基づいて「特別な教育課程」を編成していくということに関しては、具体例や実践を踏まえて研修を継続していくことが必要と考える。
- ・核になる教員を集めた研修を教育センターなどで実施し、その人たちが各学校でミドルリーダーとしてOJTを実施することが大事である。長崎県は教育センターが自立活動の指導についての研修を丁寧に行っている。自立活動の教育課程上の位置付け等について、管理職が理解して推進していくことも大切である。
- ・最終的には、一人一人の教員が専門性を有しているかどうか問題となる。子どもを理解してどのような指導をしていくかを描き、それを説明できる教員が増えていくように期待したい。